

行/事/予/定

9~11月

- 9月15日(土) 大歳地区敬老祝賀会【山口県総合保健会館】
- 9月22日(土) 大歳小学校運動会【大歳小グラウンド】
- 9月29日(土) 第5回交流列車おおとしまつり【大歳駅】
- 10月7日(日) 第41回大歳地区バドミントン大会【大歳小体育館】
- 10月21日(日) 大歳地区一斉清掃【大歳地区内】
- 10月25日(木) やまぐち車座トーク21【大歳地域交流センター】
- 11月4日(日) 健康づくり・絆・交流の輪グラウンドゴルフ大会【大歳小グラウンド】
- 11月11日(日) 第42回大歳まつり【大歳小学校】

🏆 レノファ山口 🏆
 維新公園での試合予定
 9 / 22
 10 / 7, 13, 28
 11 / 11

おおとし見守り隊が小さな親切運動表彰

「通学路の子どもを守ろうキャンペーン」

平成26年から朝夕の通学路で交通指導を行ってきたおおとし見守り隊が「小さな親切」行為実行者として表彰されました。7月14日に開催された小さな親切運動の推進大会において見守り隊の平田代表に表彰状が手渡されました。見守り隊のみなさん、おめでとうございます。



司会はおなじみの山本祥子先生

平成30年7月11日(水) 7:00~ はるぱん横で山口警察や交通安全協会など多くの方のご参加で行われました。



「おおとし夏まつり」開催

ステージ発表
 おおとし夏まつり
 8月4日(土) 夏の思い出がいっぱい
 おいしいものいっぱい屋台 祭りのファイナー! 大抽選会
 子ども実行委員長さん

参加されたみなさん、ありがとうございました。次は11月11日(日)「第42回大歳まつり」が大歳小学校で開催されます。皆様のご来場をお待ちしています。

「地撮り山口大歳2018」開催

地撮り山口大歳 #30jidori 2018.6.23
 【大賞】雨散歩 【Yan特別賞】カラフル

6月23日に、大歳地区内のスポットをめぐりスマホで撮影、コメントをつけて投稿し、新たな視点から地域の良さを発掘し、地域内外に情報発信しました。(当日の写真などについては、#30jidori#ootoshiで検索可能)

三世代交流グラウンドゴルフ大会を開催

第9回三世代交流グラウンドゴルフ大会が猛暑の続く8月25日(土)朝9時から小学校グラウンドで開催されました。56名(内小学生26名)の参加し、大先輩から指導された児童たちはみるみるうちに上手になり大人顔負けのスコアを出せるようになりました。最後におにぎりを食べて終了しました。大会の結果は次の通りです。



大人の部	優勝 横山 利明	小学生の部	優勝 西口 恵
	準優勝 松本 正史		準優勝 森口祐基翔
	3位 升田 正通		3位 後藤真里菜

編集後記

今年、福島県会津若松市では「戊辰150周年記念事業」が行われています。サブタイトルは「『義』の想い つなげ未来へ。戊辰150年」です。会津藩は旧幕府軍として、長州は新政府軍として、東北の地で戦い、150年前の9月に、戦いは終わっています。私たちは、節目の今年、内訌戦の「『義』の想い」の歴史をもっと知る必要があるのではと思います。(白上)

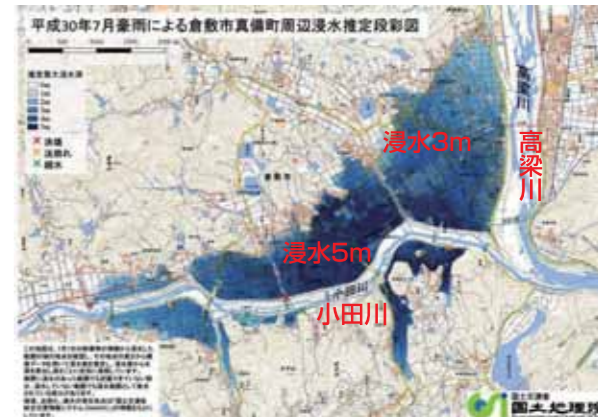
まちづくり おおとし かわら版 2018.9 Vol.53

防災特集 防災新時代 記録的豪雨に備えるには 避難指示がでたら、素早く避難を

今年、西日本を襲った豪雨は記録的豪雨と呼ばれ、短時間にこれまでにない雨量が集中し、各地に甚大な被害をもたらしました。

とりわけ、岡山県倉敷市真備町では、高梁川と合流する小田川で、高梁川の水位があがったため、小田川の水が流入できず逆流して堤防が決壊し、屋根までつかう大災害となりました。

この真備町の地形は大歳に酷似しています。高梁川が榎野川、小田川が吉敷川と考えれば、同様の現象が起きる可能性は決して低くはありません。真備町は海拔9mの沖積平野で条里制の跡を残す水田地帯でした。しかし、近年宅地造成がすすみ、新興住宅群が28か所も生まれていましたが、そのすべてが水没しました。



平成30年7月豪雨 倉敷市真備町浸水状況

洪水対策の長い努力

かつて吉敷川は勝井三作で南に流れを変え、榎野川にほぼ直角に流れ込み、逆流現象が頻繁に起き洪水銀座でした。山口から小郡・南部の10カ村が連携し榎野川の大改修工事にとりかかり、大歳では吉敷川を朝田で榎野川に流れ込むよう流路の大変更工事を行いました。また吉敷川に顕著ですが、橋げたに水があたって洪水をおこさぬよう、橋が高く架けられています。こうした村ぐるみの努力で、洪水被害を最小限にとどめてきたことを思い出し、記録的豪雨対策として何をすべきかを考えたものです。



大歳地域ハザードマップ(水害)

高齢者の被災を減らす努力を

今回の記録的豪雨では高齢の方が多く亡くなったことが問題になりました。どうしても動作が遅くなる上に、過去の経験が災いして避難の決断が遅れることが原因だといえます。

大歳の場合、榎野川流域の豊年橋と、朝田の吉敷川との合流点近くに水位計(川底に設置、水圧で水量を計測)や水位板が設けられ、この水位によって避難勧告・避難指示等の発令が判断されます。水位が堤防の高さに達する時間を考慮し早めに避難勧告・避難指示が出されますので、現実には洪水が迫ってきたときには、すでに避難が困難な状況となってしまう。

今年の防災教室で強調されたように、日常的に避難袋を準備し、早めの避難を心がけましょう。

一般の人にもわかるように 取付けられた水位板(豊年橋)

危険度	区分	行動
小	自主避難	自分自身が危険と判断した時は、自主的に避難しましょう。
中	避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳児等)とその支援者は避難を開始し、それ以外の方は準備しましょう。
	避難勧告	速やかに避難場所へ避難をしましょう。
大	避難指示(緊急)	緊急に避難場所へ避難をしましょう。

避難区分表





地域でイキイキと活躍している人達をご紹介しますコーナー！ 小さな親切で表彰 鴻南中学校3年生

昨年12月20日の13時半ごろ、午前中授業のため帰宅途中であった吉山君、若村君は、中矢原公会堂付近でゴミ袋を自転車の前かごに掛けて少しふらつき気味のおばあさんが、道路を横切ろうとして段差にハンドルをとられ、自転車ごと田んぼに転落したのに遭遇しました。後ろを



左から 平川瑠華さん 鈴木彩花さん 松永ひなこさん 吉山彰広君 若村賢佑君

歩いていた平川さん、鈴木さん、松永さんもすぐに駆け付けて、5人で田んぼから自転車とおばあさんを助け出しました。寒い冬の田んぼは水がなく、やわらかい土ですから、おばあさんにけがもなく、5人でおばあさんを家まで送って行きました。翌日学校に感謝の電話があり、このことが公になりました。5人は至極当然のことをしただけと信じていたから、表彰は照れ臭そうでしたが、瞳は澄んで輝いていました。



山口市民会館での表彰の様子

大歳歴史の散歩道 Vol.32

第2回は、「大歳中央コース・中編」に入ります。

「山下玄良の顕彰碑」(A10)を後にしてそのまま榎野川にむかって南に進み、右折するとクロガネモチの大木が見えてきます。この大木はこの地に伝わる「森様」信仰の神木です。この神木の左側に岩富公会堂と岩富八幡宮跡(B7)があります。そして、右側の少し奥には墓場が見え、隣にエンジ色の古いトタン屋根の寺があります。ここが「最明寺」(B1)です。

岩富八幡宮は、もともと平川地区の福良にあった八幡宮でしたが、江戸時代初期に岩富の地に再建され、明治42(1909)年に大歳地区の神社が合祀されるまで、この地域の村社でした。今は、朝田神社のお旅所になっています。隣の最明寺は、岩富八幡宮が再建される約350

「発見！おとし」 大歳中央コース・中編

年前の弘長3(1263)年に、鎌倉幕府の5代執権北条時頼(最明寺殿)が、建立したと称する古い寺で、当時は四方6町(約600m四方)の敷地に、伽藍があったと言われています。

この頃の岩富付近は、大内貞保(20代当主、大内弘直の弟)が支配していて、黒川五郎と称していました。黒川五郎が館を構えていた時期は、大内24代当主、弘世が大内から山口に開府する約100年前のころです。現在も、岩富公会堂の南西側に東殿、西殿、その間に馬場という小字名が残っており、この地に館があったことを偲ばせます。※最明寺は、建立当時は天台宗でしたが、江戸時代に火事で焼失後、脇坊の地に浄土宗のお寺として再建され、現在に至っています。文章の番号はマップ「発見！おとし」の番号



最明寺の「お地藏さん」

最明寺



森様の様子



神木の側にある馬頭観音

岩富八幡宮の跡地(お旅所)

古地図

古地図

大歳中央コース 約2km

大歳地域交流センター → 恵美須社(A12) → 黒川市公会堂の薬師如来像(A11) → 供有橋と田中平四郎碑(A9) → 山下玄良の顕彰碑(A10) → 最明寺(B1) → 岩富八幡宮跡(B7) → 洋風の松村医院跡(A14) → 朝田神社(B10) → 大歳様(A13) → 大歳地域交流センター

集れ！サークル紹介 大歳で活動されているサークルを紹介するコーナーです！ 青空コーラス

私たちは音楽好きの仲間です。いつまでも歌い継ぎたい唱歌・童謡・昭和の歌、歌いたいポップスなどをおしゃべりしながら練習しています。そして、デイサービスや大歳の祭りに出演しています。歌に癒されませんか？

入会金500円のみで、子連れ・年配の方大歓迎。都合のよい日にいつでもどうぞ。

練習日 第1～4月曜日14時～15時半
練習場所 交流センター2F講堂



大歳卓友会

大歳卓友会は週2回、大歳小学校の体育館で練習しています。会員数は約50人、年齢層も幅広くいつも和やかな空気に包まれています。他にも地区卓球大会の運営、夏・秋まつりへの参加、市民体育大会への出場などさまざまな活動をしています。興味を持たれた方はぜひ練習会場に見学に来てください。

練習日 水曜20時～・土曜14時～
練習場所 大歳小学校体育館



自治会レポート 三作自治会編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日頃の悩み、抱負を自治会長さん達にざっくばらんに話していただきます。

今回は三作自治会長の溝部栄さんです。自治会長は今年で2年目です。

三作地区は、市道の大歳駅～高田橋線の西側に位置し、南側は吉敷川が流れています。この地区の田圃の中には東西に旧石州街道が通っており、また南北に法満寺川が流れています。2009年の大雨の時には法満寺川が氾濫し大変でしたが、今は堤防が改良され、よくなりました。現在の自治会員は個人住宅、アパートを含めて71世帯で、班は5班です。高齢化が進み、大歳地区体育祭などは、入場行進と開会式参加のみとなっています。昨年の1自治体1事業は、農業の節税対策等を内容とする「税務研修並びに農業研修」でした。参加者は30名弱でした。今年は10月に防災の研修会を予定しています。悩みは「空き家」問題です。草や木に覆われた「空き家」が一軒あり、ネコが数匹住み着いています。会長さんは、「ネコは以前、もっといましたが、キツネに食われた」と言われます。不審火や死骸など衛生面でも心配なので、市の生活安全課に相談し、伐採してもらったこともあります。今はもとに戻っています。



三作自治会長 溝部 栄さん



高く改良された土手



空き家



1自治会/事業

平成30年度 移動市長室 毎年恒例
「やまぐち車座トーク21」を開催
市民の皆さんと市長が気軽に語り合う

参加申し込みは不要 どなたでも参加可能
とき 平成30年10月25日(木) 19時～
ところ 大歳地域交流センター